

大使館からのお知らせ

【安全情報10月分】当地報道より、殺人、強盗事件や自然災害など、先月10月に報じられた皆様の安全に係わる情報の概要をお知らせしています。

1 司法警察（O I J）によると、今年1月1日～9月26日までにサンホセ市中心部において強盗事件が1,413件発生しています。地区別でみると、ホスピタル地区505件、カテドラル地区371件、メルセー地区301件、カルメン地区236件となっており、犯行種別でみると、刃物による犯行424件、けん銃406件、ひったくり385件、後ろから襲う126件、脅す72件となっております。

被害品では携帯電話が最も多く、18:00～21:00が最も犯行の多い時間帯となっております。

司法警察（O I J）は、

- ・暗い場所を夜遅く歩かない。
- ・1人で歩かない。
- ・携帯電話を手に持って歩かない。
- ・周囲の人に気をつける。

等、注意を呼びかけておりますので、在留邦人の皆様におかれましても、強盗の標的とならないよう注意いただくとともに、万が一事件に遭遇した場合には、抵抗せずに要求に従うなど、身の安全を最優先とする行動を心がけるよう、お願い申し上げます。

2 サンホセ市サバナ公園の野球場近くの路上で殺人事件が発生しました。状況は、女性が帰宅途中バス停に向かって歩いていたところ、携帯電話を奪われそうになりました。助けに入った25才男性が、刃物で腹部を刺され殺害されたものでした。その後、犯人は自転車に乗って逃走した模様。

上記のように、最近首都圏や我々の生活圏内での強盗や窃盗事件が多く発生しております。犯罪被害に巻き込まれないよう十分注意するとともに、万が一、事件に遭遇した場合には、速やかに現場から離れる等、身の安全の確保を最優先に考えた行動を心掛けてください。

●サンホセ県

「25歳の男性、刃物で刺され殺害」(殺人事件)

10月17日午後6時05分、サンホセ市サバナ公園南側の野球場近くの路上で25歳の男性が刃物で刺され殺害された。銀行に勤めている女性が帰宅するためバス停に向かって歩いていたところ、携帯電話を奪われそうになり、助けに入った男性が刃物で刺され殺害された。犯人は自転車に乗って逃走した。

「35歳男性、銃撃され死亡」(殺人事件)

10月29日午後9時30分、ティバス市で35歳男性が自宅近くでオートバイに乗って出かけようとしたところ、銃撃され死亡した。この銃撃で付近にいた女性も銃弾を受けてけがを負った。

「35歳男性、銃撃され死亡」(殺人事件)

10月29日午前3時30分、エスカス市サンラファエルの路上で23歳の男性ともう1人の男性が銃撃され死亡した。犯人の男性2人は車に乗って逃走した。被害者は麻薬関連で警察の間では有名な人物だった。

●カルタゴ県

「56歳の男性、刃物で殺害」(殺人事件)

10月26日午後3時00分、トゥリアルバ市で56歳男性が別の男性と口論となり、刃物で刺され殺害された。

●プンタレナス県

「男性1名、銃撃され死亡」(殺人事件)

10月24日午前1時00分、プンタレナス市でオートバイに乗った2人組の男性が、別のオートバイに乗った男性を銃撃し殺害した。犯人は逃走中で詳細は調査中。

「男性1名、銃撃され死亡」(殺人事件)

10月24日午後8時00分、プンタレナス市の路上である男性がオートバイに乗った2人組に銃撃され殺害された。被害者は12年の刑期を終えて出所したばかりだった。

●アラフエラ県

「バーのオーナー、強盗犯に銃撃され死亡」(殺人事件)

10月19日未明、サンカルロス市のバーで閉店後バーのオーナーと従業員男女2名が店に残っていたところ、裏口から2人組の強盗が入ってきた。オーナーと従業員男性が抵抗したところ、犯人に銃撃され死亡した。

「ナショナル銀行に強盗」(強盗事件)

10月18日昼過ぎ, サンカルロス市タマリンドのナショナル銀行に5人の武装した男性グループが強盗に入り, 現金を奪って逃走した。被害金額は不明で, 店内にいた1人が銃で頭部を殴られけがを負った。

●リモン県

主要事件の報道はなし。

●グアナカステ県

主要事件の報道はなし。

●エレディア県

主要事件の報道はなし。

以上

◆ 大使館では皆さまからの情報提供をお待ちしています。◆
TEL : (506) 2232-1255
FAX : (506) 2231-3140
E-mail : japon-consulado@sj.mofa.go.jp (大使館領事班)
または tadashi.washio@mofa.go.jp (鷺尾) まで